



ガムランの演奏でテープカット。左より庄田武浜松市文化振興財団理事長、北脇保之浜松市長、田中満洲男市議会議長、西岡信雄名誉館長。

2006年3月21日

広く楽しく、リニューアルオープン！

去る3月21日(火・祝)に楽器博物館がリニューアルオープンしました。昨年6月から展示室の部分休館を繰り返しながらリニューアル工事が行なわれ、今年2月13日から3月20日までは全館休館して最後の展示作業を実施。展示床面積は657㎡増加して2,817㎡、展示楽器数は200点増えて1,200点となりました。また体験ルームの設置やイヤホンガイド、映像モニタの導入など、「みる・きく・ふれる」展示がいっそう充実しました。

当日はオープン記念で入館料は無料。市内外から2,658人も多くの方が入館され、平成7年4月の開館から11年ぶりに新しくなった展示を楽しみました。午前10時から展示室にてオープン記念式典が行なわれ、北脇浜松市長から「新しくなった博物館に市民の皆さんにもっと来ていただき、市外の皆さんにも世界の博物館に引けを取らないこの博物館を楽しんでいただきたい」との挨拶のあと、市

議会議長、名誉館長の挨拶、テープカットが行なわれ、ガムランやチェンバロ、19世紀のピアノの祝賀演奏で式典を盛り上げました。(詳細2面)

世界に誇るコンセプト

平成7(1995)年4月に浜松市楽器博物館が開館して11年が過ぎます。おかげさまで、今までに90万人もの多くの方にご来館いただき、各方面から高い評価を得てまいりましたが、今回のリニューアルオープンをもちましてようやく「世界の楽器を同じ目線で平等に展示し、楽器を通して人間の知恵と感性を探る」という、同館が世界に誇る基本コンセプトが実現することになりました。

開館当時は、所蔵コレクションの偏りから、ヨーロッパの展示が全体の3分の2を占めるというアンバランスな状況でした。しかし、開館後、アジアやアフリカ、オセアニア、アメリカの資料収集を続け、また各地の現地調査で映像や写真も収集した結果、世界の楽器とその文化を平等に展示する第一歩が可能になったのです。

アジアの日本にある、世界で一番新しい楽器博物館は、これからも多くのメッセージを発信していきたいと思っております。皆様のますますのご支援をお願い申し上げます。

浜松市楽器博物館
館長 嶋和彦

みる・きく・ふれるがさらに充実

個性あふれる世界の楽器たちが皆さんを迎えます！



1階アジア展示室全景。壮麗なジャワ・ガムランが目を引き。

ワークショップ修了生によるジャワ・ガムランの祝賀演奏



地階ヨーロッパ展示室はエレガントな雰囲気が漂う



北脇浜松市長(左)、田中市議会議長(中左)、西岡名誉館長(中右)が挨拶。嶋館長(右)がリニューアル概要を説明。



外観もロビーも一新

杉山佳代さんによる
チェンバロの祝賀演奏



本多まきさんによる19世紀の
ピアノの祝賀演奏



イヤホンガイド(左)と
モニター付きヘッドフォンスタンド(右)で音と解説と演奏風景を楽しめる



地階展示室全景。オセアニア、アフリカ、アメリカの楽器が広がる



ヴァヌアツの巨大な割れ目太鼓は圧巻

地階鍵盤楽器ルームには17~19世紀の
チェンバロやピアノなどがずらりとならぶ。



体験ルームには世界の楽器や手作りのおもちゃがいっぱい。子どもも大人も楽しめる。

特別レクチャーコンサート ショパンのアンサンブルを、19世紀のサロンの響きで

日 時：平成18年2月26日(日) 14:00～16:00

場 所：アクトシティ浜松音楽工房ホール

入場者：220人

演 奏：小倉貴久子(ピアノ) 桐山建志(ヴァイオリン)
白井圭(ヴァイオリン) 長岡聡季(ヴィオラ)
花崎薫(チェロ) 小室昌広(コントラバス)
プログラム：ピアノ協奏曲第1番 ピアノ三重奏曲
ノクターン変ロ長調 バラード第1番

静岡文化芸術大学と初の共同企画で特別レクチャーコンサートを開催しました。同大学の平野昭教授、小岩信治講師の監修によるこの企画は、現代では通常オーケストラとピアノで演奏されるショパンのピアノ協奏曲第1番を、ピアノと弦楽5重奏という室内楽版で演奏するという珍しいものです。実はショパンが活躍していた19世紀前半には、室内楽版のピアノ協奏曲がよく演奏されていたといわれています。音楽の楽しみ方が現代とは非常に異なっていたのです。ピアノ協奏曲を室内楽として、家庭

やサロンで楽しんでいたのです。当時のピアノは現代のような大音量ではなく、弦楽器と非常に音がよく溶け合いました。今回の演奏会では博物館所蔵の1830年製フランス・プレイエル社のピアノを使用しました。弦楽器との音量のバランスがとてもよく、プレイエル・ピアノ特有の艶のある音色と、室内楽ならではの弦の繊細な動きが絡み合い、素晴らしいアンサンブルを楽しむことができました。また、この演奏会は3月14日(火)19:00から東京の第一生命ホールでも開催され、多くの聴衆がその響きに酔いしれました。



レクチャーコンサート 第62回 優しさのアイランド ～アイリッシュ・フルートとハーブ～

日 時：平成18年1月14日(土) 14:00～16:00

場 所：アクトシティ浜松音楽工房ホール

入場者：224人

演奏とお話：守安功(アイリッシュフルート)
守安雅子(アイリッシュハーブ)

アイランドの曲は、初めて聴く曲でもずっと昔から知っていたような不思議な懐かしさと優しさに満ち溢れています。誰でも知っている曲で代表的な「ロンドンデリー」「庭の千草」をはじめ、現地の酒場で演奏されるとてもノリのいい曲、ダンスの伴奏のための音楽、さらに

は、バロック音楽から現代の音楽まで心に満ちた魅力的なメロディーの数々をアイリッシュハーブとフルートをはじめ、珍しい楽器で演奏しました。演奏者と聴衆が対話をしながら即興的に曲を選び、一度限りの最高の演奏会となりました。



「かっこよく三味線をひこう」ワークショップ

日 時：平成18年1月22日(日)

10:30～12:00

13:15～14:45 / 15:00～16:30

場 所：アクトシティ浜松研修交流センター

参加者：48人(小学3年生～中学3年生)

講 師：杵屋邦寿 松永鉄九郎

小学3年生から中学3年生を対象とした三味線のワークショップを行ないました。予想以上の多くの応募があり、急遽午前の部も設けることになりました。

このワークショップでは楽譜をいっさい使用せず、師匠のお二人が持ち方から演奏方法まで丁寧に指導してくださいました。初めて触れた楽器にもかかわらず、たった90分で子どもたちは「さくら」が弾けるようになり、大満足の笑顔でした。



ジャワ・ガムランワークショップ (初級・中級)

日 時：平成18年2月4日(土)中級 10:30～15:30

5日(日)中級 10:00～15:00

11日(土)初級 10:00, 14:00

場 所：楽器博物館 参加者：22人(中級), 34人(初級)

講 師：風間純子(中京女子大学助教授)

毎年恒例のジャワ・ガムランワークショップ。今回はスレンドロ音階のセットを使い、初級は「マニャル・セウ」、中級は「ウィルジュン」という曲に挑戦しました。最初は独特の音階やリズム感になかなか慣れなくてぎこちなかった音楽も、時間が経つにつれて、スムーズに流れるようになり、お互い他の人の演奏を聴きながら演奏する余裕が出てきました。参加者はガムランの包み込まれるような音色に満足していました。



◆ 博物館日誌

- 12/11(日) レクチャーコンサート「北欧のクリスマス～フィンランドの
カンテレ～」
14:00 アクトシティ浜松音楽工房ホール
演奏:はざた雅子 入場者206名
- 12/18(日) 世界の楽器体験ワークショップ「チャンゴ」(中級)
13:00 参加者9名
講師:イ・チャンソプ(サムルノリ演奏家)
- 1/14(土) レクチャーコンサート
「優しさのアイランド
～アイリッシュ・フルートとハーブ～」
14:00 アクトシティ浜松音楽工房ホール
演奏:守安功、守安雅子 入場者224名
- 1/21(土) 講座「楽器の中の聖と俗」第35回「黎族のパンパーダンス～
中国海南島～」
14:00 研修交流センター401会議室 参加者31名
講師:西岡信雄(大阪音楽大学長、浜松市楽器博物館名誉館長)
- 1/22(日) 世界の楽器体験ワークショップ「長唄三味線」
10:30、13:15、15:00 参加者48名
講師:柘屋邦寿、松永鉄九郎
- 1/31(火)～2/2(木)
移動楽器博物館(浜松市立北浜小学校)
- 2/4(土) 世界の楽器体験ワークショップ「ジャワ・ガムラン」(中級)
10:30 参加者9名
講師:風周純子(中京女子大学助教授)
- 2/5(日) 世界の楽器体験ワークショップ「ジャワ・ガムラン」(中級)
10:00 参加者13名

- 講師:風周純子(中京女子大学助教授)
- 2/11(土) 世界の楽器体験ワークショップ「ジャワ・ガムラン」(初級)
10:00、14:00 参加者34名
講師:風周純子(中京女子大学助教授)
- 2/13(月)～3/20(月)
リニューアルオープン準備のため全館休館
- 2/14(火)～15(水)
移動楽器博物館(浜松市立田沢小学校)
- 2/26(日) 特別レクチャーコンサート
「シヨパンのアンサンブルを、19世紀のサロンの響きで」
14:00(13:15～プレトーク)アクトシティ浜松音楽工房
ホール
演奏:小倉貴久子、桐山建志、花崎薫、白井圭、長岡聡季、
小室昌広
お話:小岩信治(静岡文化芸術大学講師) 入場者220名
- 3/21(火) リニューアルオープン 入館無料 入場者2,658名

◆ 12月～3月の観覧者数

	12月	1月	2月	3月	4ヶ月の合計	開館からの累計
大人	2,430	2,878	1,285	4,406	10,999	697,115
中人	55	62	23	141	281	27,624
小人	377	581	557	1,962	3,477	156,710
幼児	205	239	86	597	1,127	42,496
計	3,067	3,760	1,951	7,106	15,884	923,945

2006年度イベント情報

特別展「弦楽器の名器たち～大阪音楽大学弦楽器コレクション展～」

7月16日(日)～8月31日(木) 有料

ストラディバリウスとガルネリ作の世界に数少ないピッコロヴァイオリン、ガスパロロのヴィオラ、ダ・ガボンなど、大阪音楽大学サントリコレクションの弦楽器の名器を展示、8/5は講座、8/6、19にはレクチャーコンサートも開催。(8/6、19はレクチャーコンサートで使用のため展示されない楽器があります。)

講座
「ヴァイオリンの秘密を探る」
8/5(土) 14:00 音楽工房ホール
講師:杉山和良(ヴァイオリン製作者)
演奏:松田淳一(ヴァイオリン)
山上華子(ピアノ)

レクチャーコンサート「ヴァイオリンの歴史と名器たち」
8/6(日) 14:00 音楽工房ホール(チケット大人1500円 学生800円)
演奏:松田淳一(ヴァイオリン) 山上華子(ピアノ)
ストラディバリウス、ガルネリ、ガリヤノといった名器たち、シャノー、パウエル、スローなどの珍しい歴史的ヴァイオリン、多彩なヴァイオリンの世界を紹介します。

レクチャー「ヴァイオラ・ダ・ガボンの歴史を巡る～中世ルネサンスからバロックへ～」
8/19(土) 14:00 音楽工房ホール(チケット大人1500円 学生800円)
演奏:坂本利枝(ヴァイオラ・ダ・ガボン、フィデル、レベックほか)
坂本洋子(コーダー、打楽器、コンチカール)
名工ガスパロロ・サロロのヴァイオラ・ダ・ガボンの演奏と、フィデル、レベックなど中世・ルネサンスの弦楽器の歴史を辿ります。

企画展「ピアノ大解剖パート2」

10月22日(日)～12月17日(日)
第6回浜松国際ピアノコンクール(11/12～27)関連企画
ピアノは何歳? ピアノの部品の数はいくつ? ピアノはどうして黒いの? 現代のピアノの仕組みや秘密を实物や模型を使って探ります。

- 催し物の日程や内容は変更されることがあります。事前にご確認ください。
- 特別展、レクチャーコンサートなどは有料です。
- 講座・ワークショップは事前申込みが必要です。申込み方法は、広報はままつ、ホームページ等でお知らせします。お問合せは[053-451-1128]へ。

レクチャーコンサート

- 音楽工房ホール チケット大人1500円/学生800円(公演2ヶ月前より前売り)
- 第63回
6/8
(木)
18:30
モーツァルト生誕250年記念
室内楽とピアノ協奏曲
指揮:新井 1810年のヴァン・クライバーンを使用、ピアノ協奏曲12番を室内楽版で、ナチュラホルンも登場。
出演:ラバド サンパ(室内楽) 小倉貴久子(ピアノ)
- 第64回
7/8
(木)
14:00
リンパの世界～いまむかし
アフリカ・タンザニアの親指ピアノ「リンバ」を取り上げます。伝統的な演奏と、現代のポップシーンでの演奏を紹介します。
出演:サカキ・マコトとその仲間
- 第65回
12/7
(日)
14:00
フルートで巡るサロンの歴史
プロシア帝国のフリードリヒ大王はフルートを愛し、自らも演奏し、サロンコンサートを数多く開きました。フルートを切り口に、欧州のサロン音楽を巡ります。
出演:山田正成(フルート) ほか
- 第66回
2/4
(日)
14:00
ノルウェーのきらめき「ハルダンゲル・フィドル」
ノルウェーの民俗ヴァイオリン「ハルダンゲル・フィドル」、共鳴弦を持つその響きは、きらめくような余韻にあふれます。
出演:山瀬理枝(ハルダンゲル・フィドル) ほか

特別演奏会「ベートーヴェンとフォルテピアノ」(予定)

ミュージアムコンサート

- 音楽工房ホール チケット大人2000円/学生1000円(公演2ヶ月前より前売り)
- 第1回
10/1
(日)
14:00
スウェーデンのこころ
～ニッケルハルバとともに～
出演:ラーナリム(スウェーデンより来日)
スウェーデンの民俗ヴァイオリン「ニッケルハルバ」(浜松初登場)を全面的にフィーチャー。スウェーデン・フォーク・ソングの超人気グループ「ラーナリム」によるコンサート。
- 第2回
3/19
(月)
18:30
ラウネッダスの祭り
～サルデーニャ島の歌と楽器～
出演:サルデーニャ島民俗音楽団
(イタリア・サルデーニャ島より初来日)
イタリア・サルデーニャ島民俗音楽団によるコンサート。世界でこの島にしかない複製3管クラリネット「ラウネッダス」や、カペラ男性四重奏「テノーレス」が魅力です。

イブニングコンサート

18:30 展示室ホール 入場料500円

展示室での気楽なミニコンサート
「ガムラン・モーター・クラウ」の作品ほか
演奏:小林達夫 山上華子
インドの弦楽器「サランギー」(8月)
演奏:小林祐介
以上のほかにも企画中。

講座

- 19世紀のピアノと社会(全3回) 18:30【展示室ホール】
日程未定
講師:小岩信治(静岡文化芸術大学講師)
ピアノが最も活躍した19世紀ヨーロッパの演奏家や演奏の特徴、作品の性格、他の芸術や文化との関連など、ピアノとそれを取り巻く社会の文化史。
- 楽器の中の聖と俗(全3回) 14:00【研修交流センター】
講師:西岡信雄
(大阪音楽大学助教授 浜松市楽器博物館名誉館長)
第30回 10/21(土) 「社会現象「よさこい祭り」」
第37回 12/16(土) 「風が作り出す音文化」
第38回 1/20(土) 「太鼓の中の「聖」と「俗」」

ワークショップ

(8月～3月 開催時期など詳細はチラシをご覧ください)

西アフリカの太鼓「ジェンベ」、アフリカの親指ピアノ「リンバ」、韓国の太鼓「チャングム」、インドネシアの「ジャワ・ガムラン」、バリ・ガムラン、アメリカの弦楽器「バシジョー」、日本の「長唄三味線」を予定しています。

展示室ガイドツアー ミュージアムサロン

- 【毎日曜日】
・30分程度の展示説明を1日2回実施。
- 【月2回/日曜日】
・職員やゲストによる展示室でのミニトークとコンサート

展示鍵盤楽器のデモンストレーション演奏

【毎日10:00～16:00/1時間毎】
18～19世紀のオリジナルチェンバロやピアノを解説しながらデモンストレーション演奏します。(各回約10分間)

利 用 案 内

- 開館時間:午前9:30～午後5:00
休館日:毎月第2水曜日(祝日の時は翌日)、年末年始、
その他施設点検等のための臨時休館日
- 常設展観覧料: 個人 団体(20人以上) 団体(80人以上)
大人(大学生以上) 400円 320円 240円
中人(高校生) 200円 160円 120円
※中学生以下、高齢者(70歳以上)、障害者の常設展入館料は無料です。

浜松市楽器博物館だより

平成18年4月1日発行 No.43
編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 静岡県浜松市中央3-9-1
TEL. 053-451-1128
FAX. 053-451-1129
URL: http://www.gakkihaku.jp
MAIL: wakuwaku@gakkihaku.jp
印刷 株式会社シバプリント